

# グラフで見る東海経済(2022年3月)

2022年3月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

## 今月の景気判断 ～足踏み状態

### 【今月のポイント】

- 生産(1月)は、半導体不足、感染症拡大の影響で輸送用機械が大幅減となり、持ち直しの動きが一服、足踏み状態となっている。トヨタの生産計画では、2月以降、持ち直しが見込まれているが、部品調達難による下振れ懸念も残る。
- 1月の実質輸出は2ヵ月連続で低下。2月の名目輸出は前年比で大幅増となり、過去数年では高めの水準であるため、実質輸出も2月以降に持ち直してくる可能性がある。
- 住宅着工はこのところ前月比で減少傾向となっており、弱含んでいる。

項目	現状
景気全般	足踏み状態(↓)
生産	足踏み状態(↓)
輸出	足踏み状態
設備投資	持ち直しの動きがみられる
雇用	横ばい圏で推移している
賃金	弱い動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる(↓)
公共投資	弱い動きがみられる

注: ( )内は前月からの変化の方向

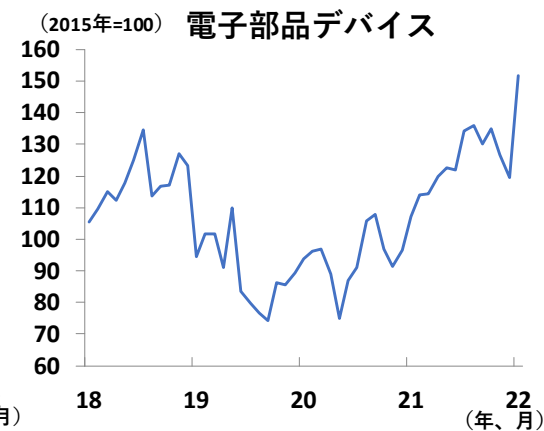
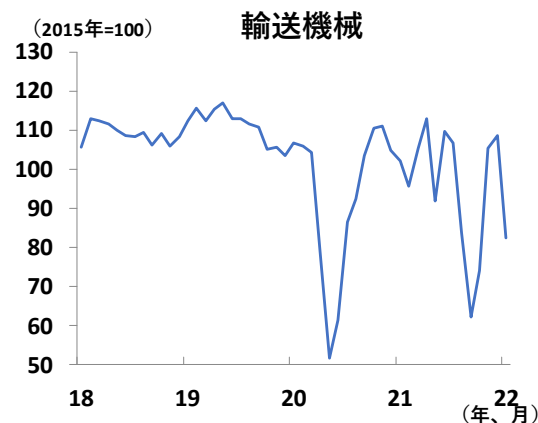
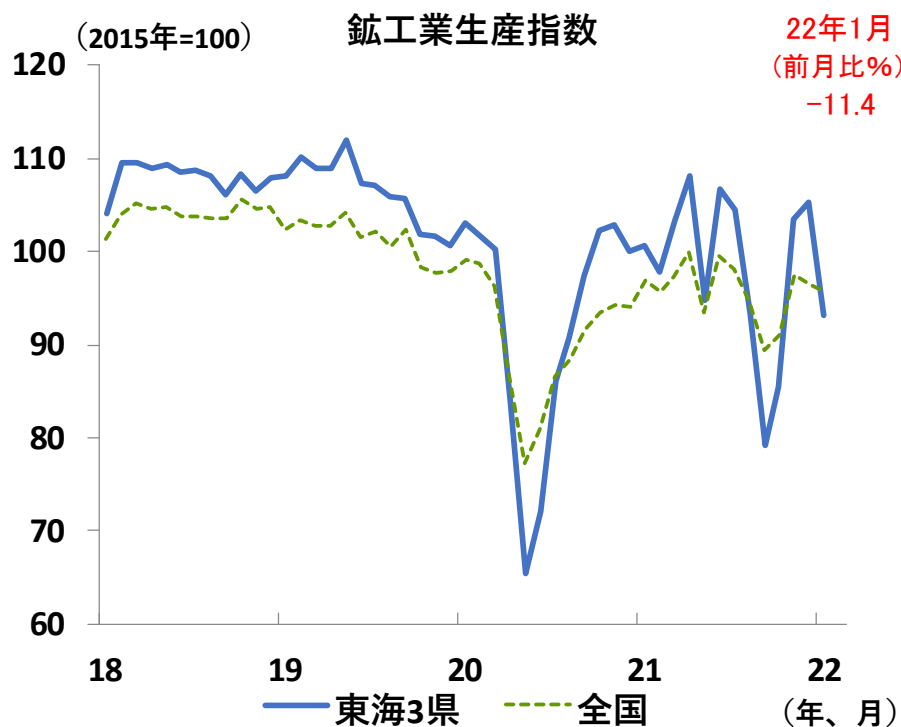
景気全般は、「持ち直しの動きが鈍化」から下方修正(↓)

生産は、「持ち直しの動きがみられる」から下方修正(↓)

住宅投資は、「持ち直しの動きがみられる」から下方修正(↓)

# 生産

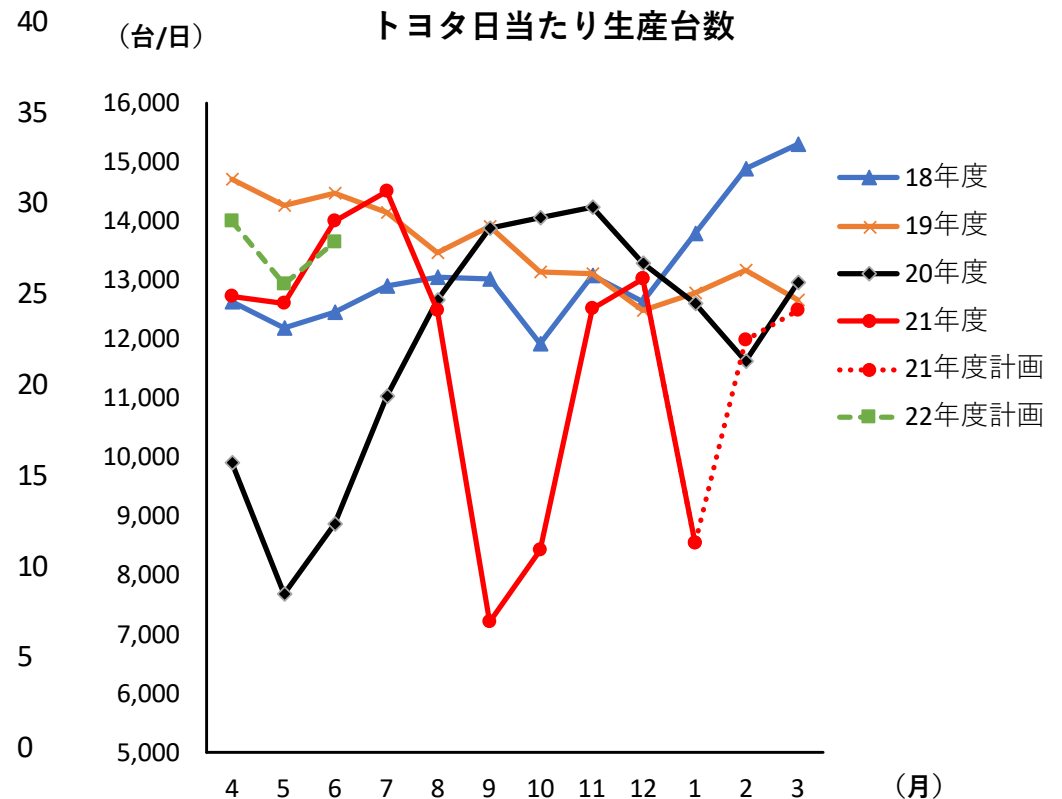
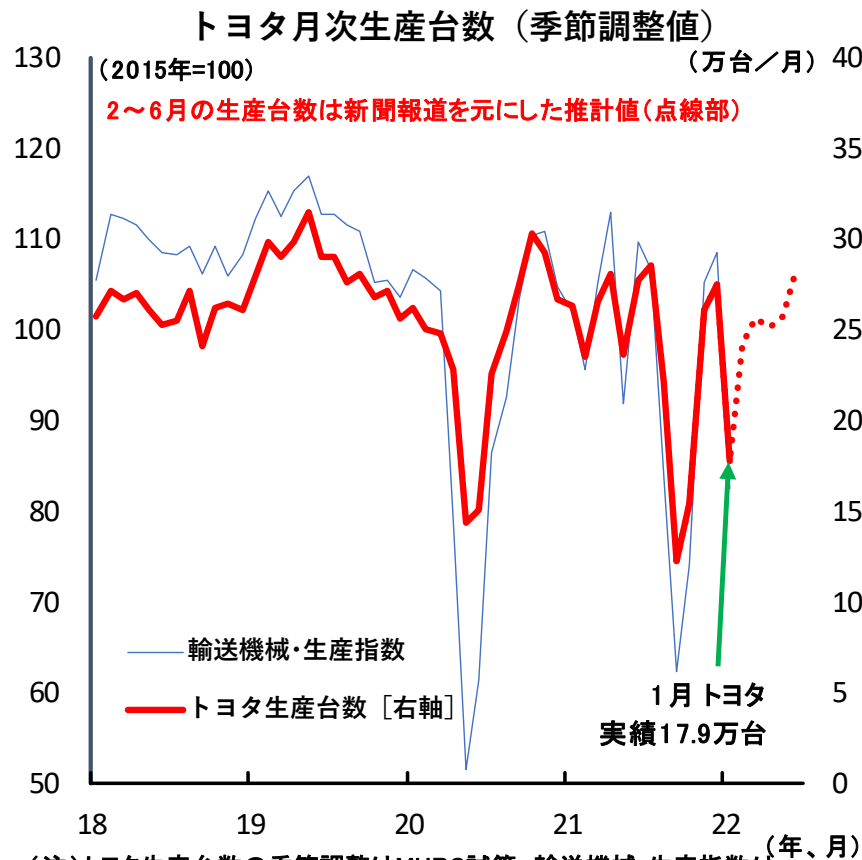
1月の鉱工業生産(東海)は前月比-11.4%と大幅に減少した。電子部品デバイスが集積回路を中心に大幅増となる一方、半導体不足、感染症拡大の影響で輸送用機械が大幅な減少となった。



(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

# 生産（トヨタ生産計画）

1月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は17.9万台。部品調達難による生産調整で9月にボトムを付けて以降、水準を上げてきたが、1月はオミクロン株感染拡大に伴う部品調達難により生産水準が大きく低下した。先行きは、内外需要の底堅さを背景に均してみると持ち直していく計画だが、下振れの可能性も。



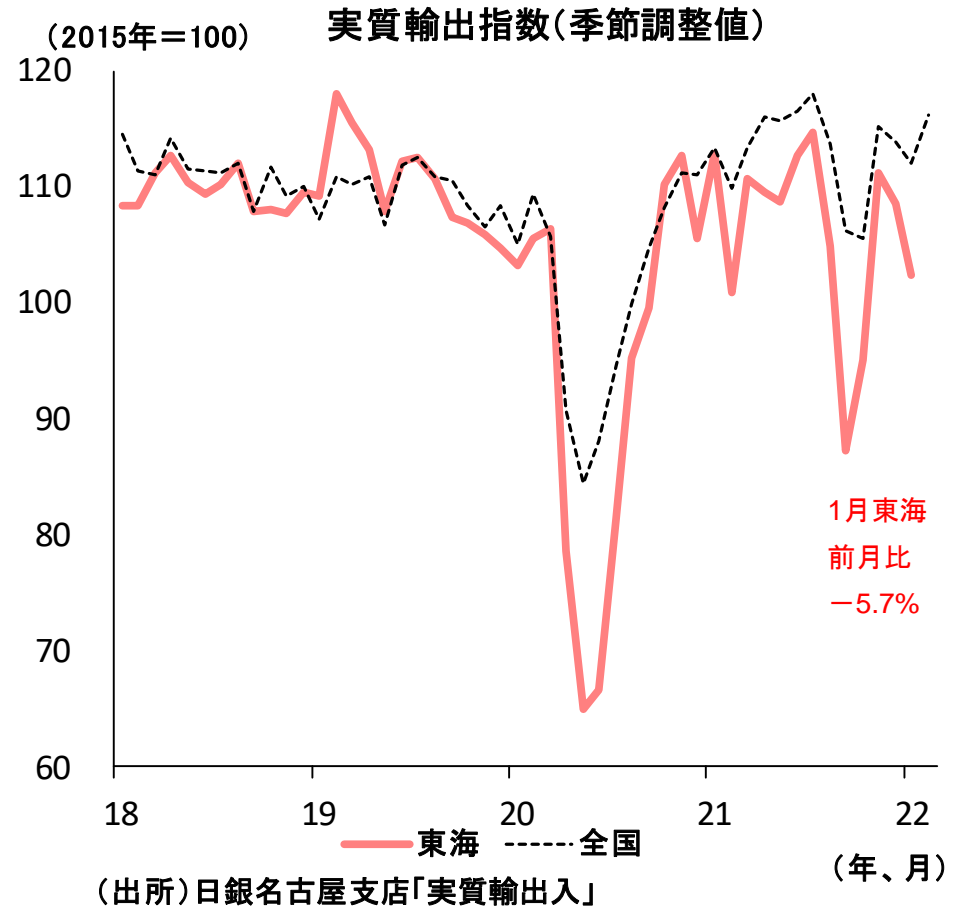
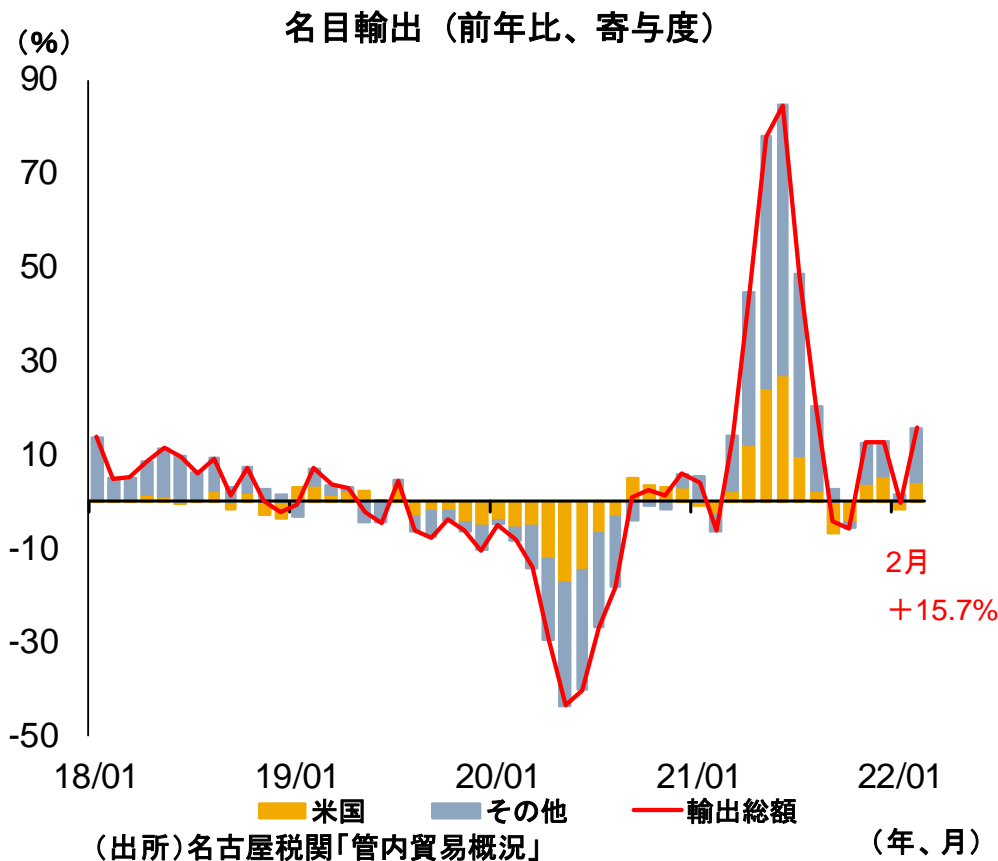
(出所) トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの  
 (出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

# 輸出

2月の名目輸出額は、前年比+15.7%と2ヵ月ぶりに増加した(一昨年比では+8.3%の増加)。地域別では米国、アジア向けが増加した。品目別では自動車、金属加工機械などが増加した。

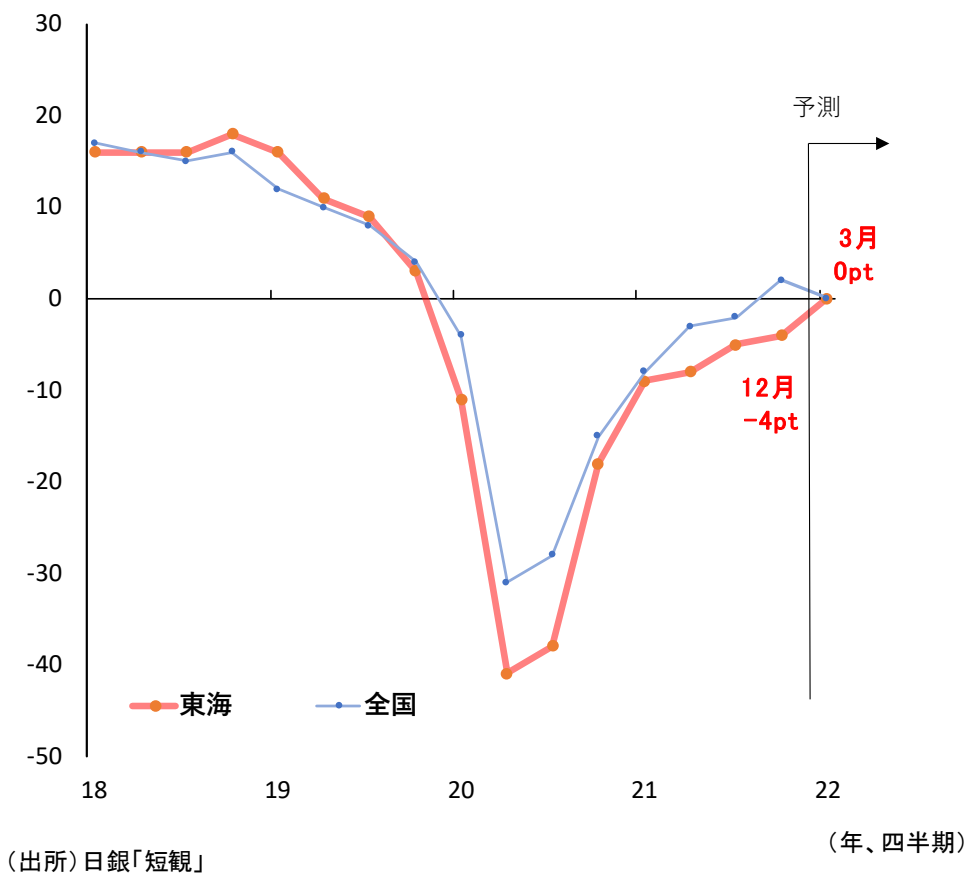
1月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-5.7%と2ヵ月連続で低下した。



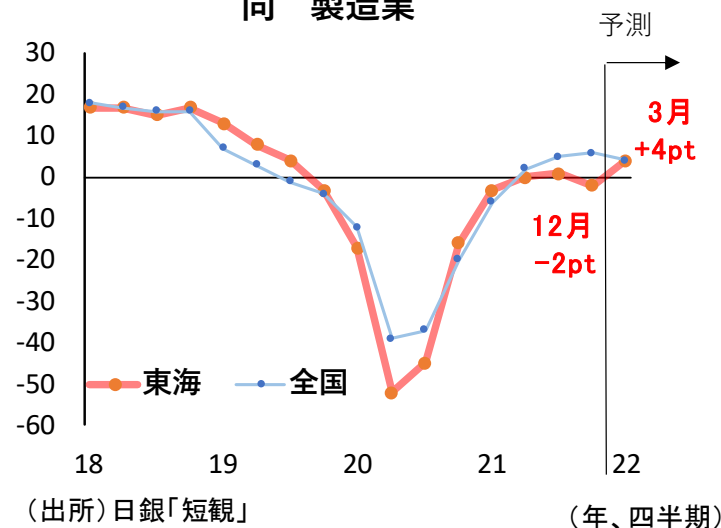
# 企業景況感(日銀短観) ※以下は12/13公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIは全産業で-4ptと9月調査から小幅改善した。製造業は-2ptと小幅悪化して「悪い」超に、非製造業は-7ptと「悪い」超ながら改善したが、宿泊・飲食サービスなどは厳しい状態が続いている。先行きは、製造業、非製造業とも改善が見込まれている。

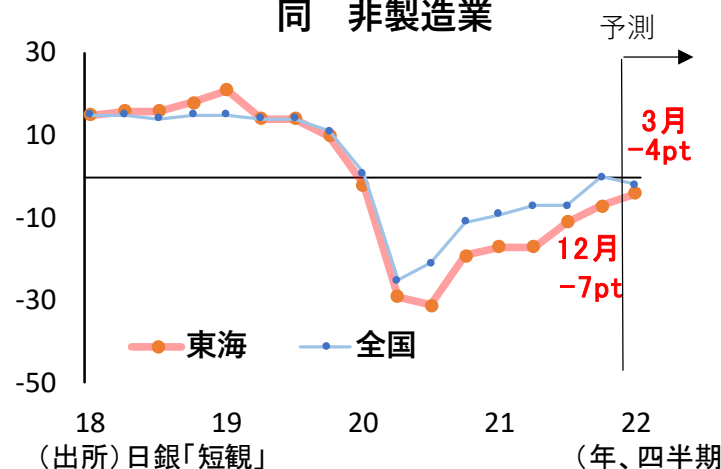
短観業況判断DI「全産業」



同 製造業

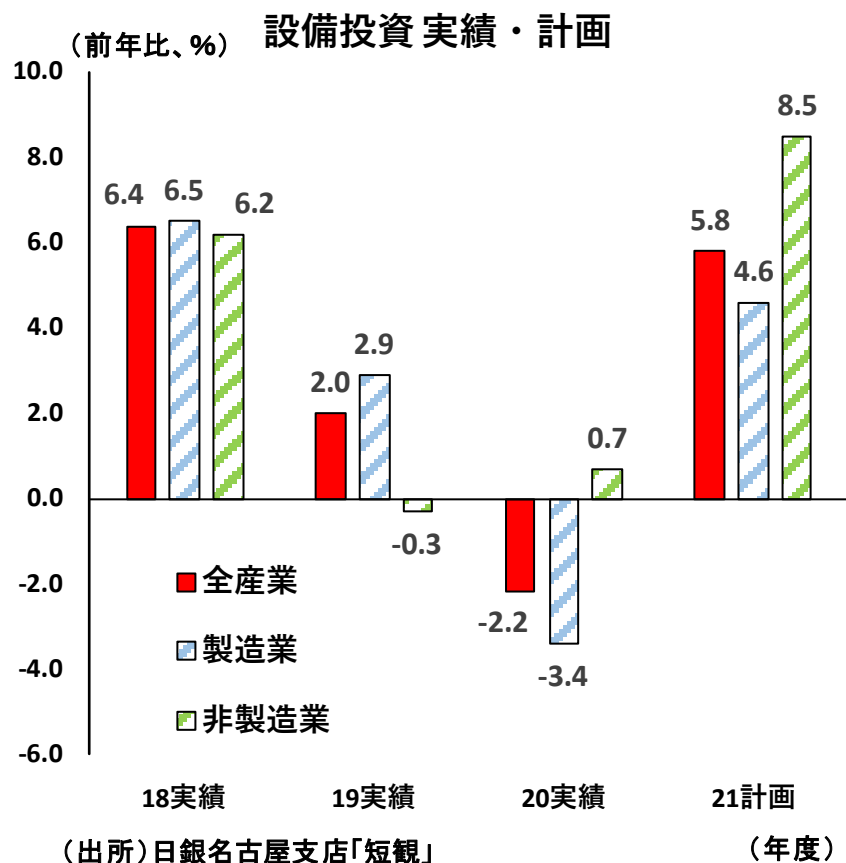


同 非製造業



## 設備投資※以下は12/13公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査によると、21年度の設備投資計画は、製造業が前年比+4.6%と9月調査時から小幅上方修正、非製造業は同+8.5%と下方修正となった。業種別では、対事業所サービス、不動産などで大幅増が見込まれている。



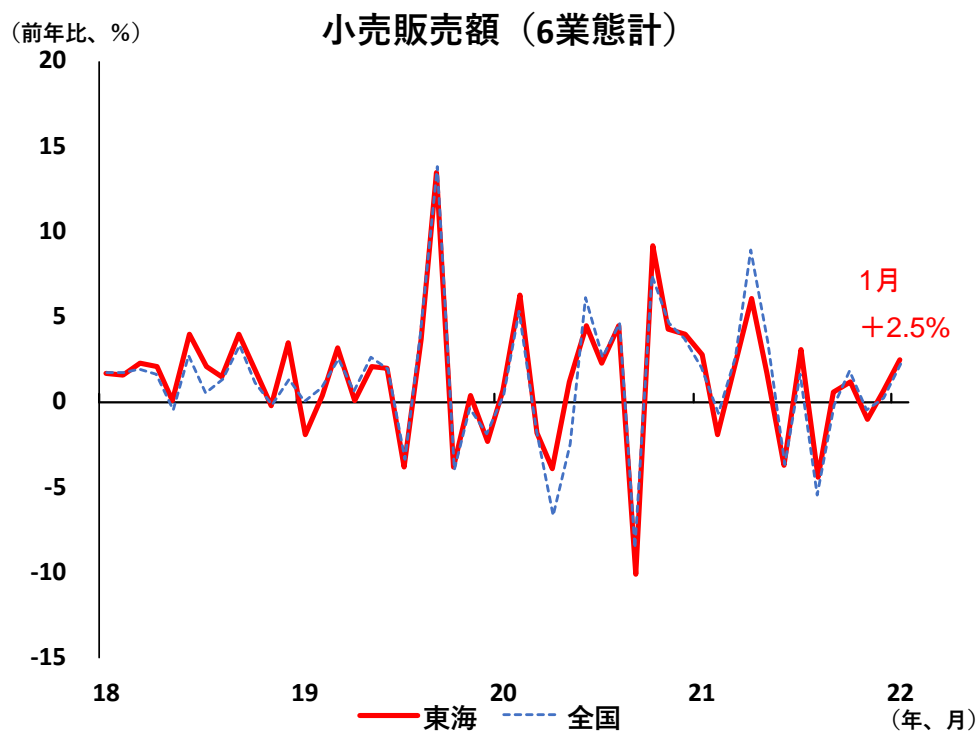
設備投資額 (前年比%)

	20年度実績	21年度計画	
		今回調査 (前回調査との差異)	前回調査
全産業	-2.2	5.8 ( 0.2 )	5.6
製造業	-3.4	4.6 ( 0.4 )	4.2
非製造業	0.7	8.5 ( -0.5 )	9.0

## 個人消費(小売売上、自動車販売)

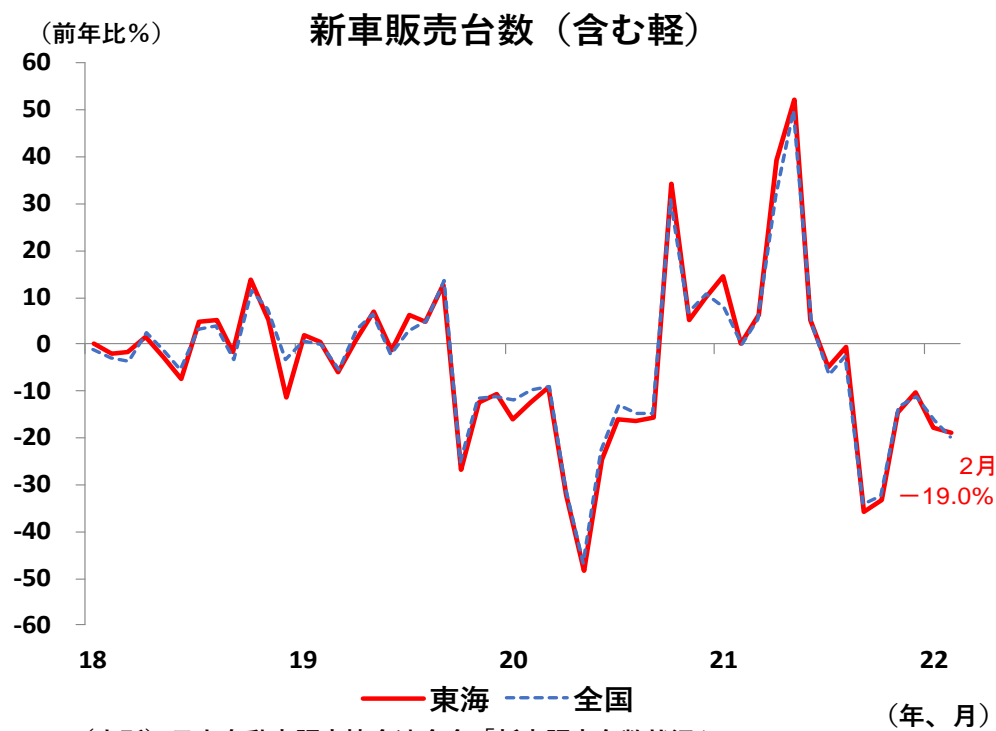
1月の小売販売額は前年比+2.5%と2ヵ月連続で増加。一昨年比でも+5.4%と4ヵ月連続で増加した。業態別では百貨店、コンビニ、ドラッグストアが増加した。

2月の新車販売は、半導体など部品供給不足による生産調整とオミクロン株感染拡大の影響により、前年比-19.0%と8ヵ月連続で減少した。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

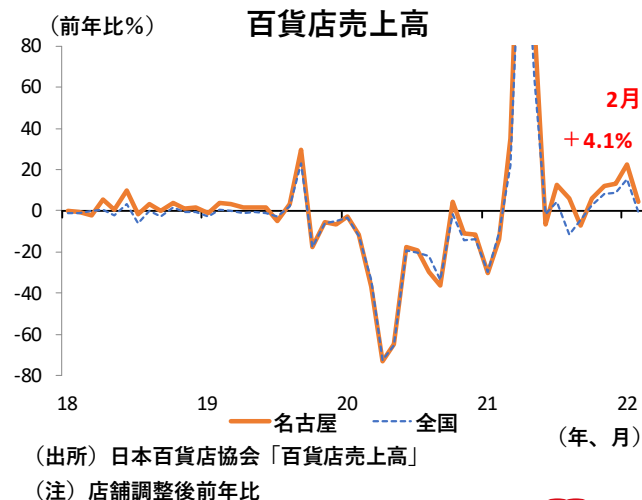
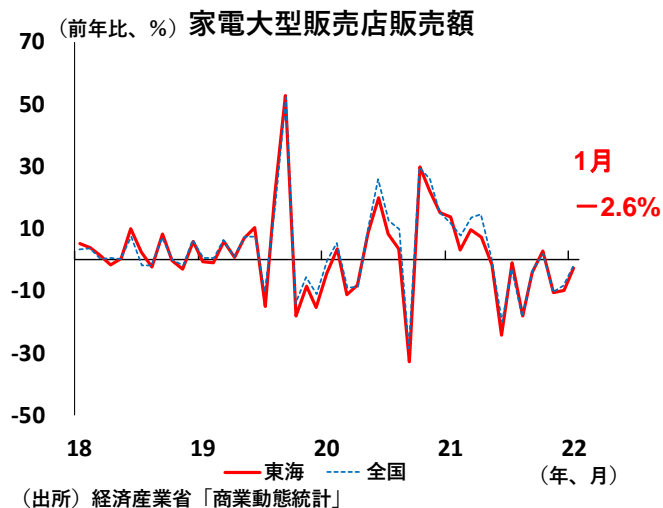
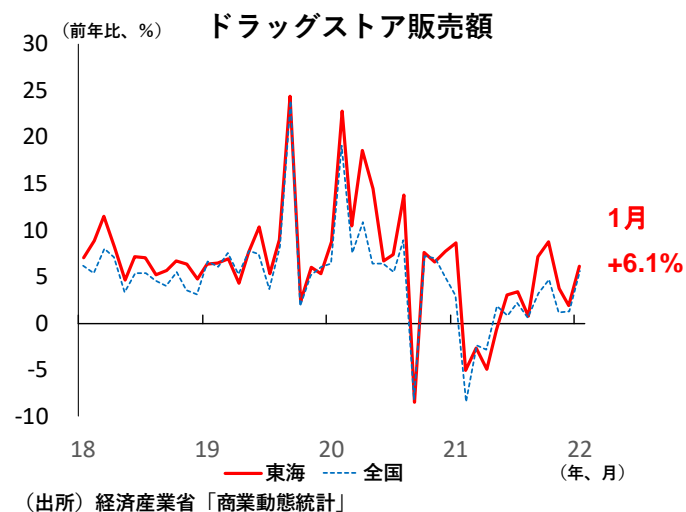
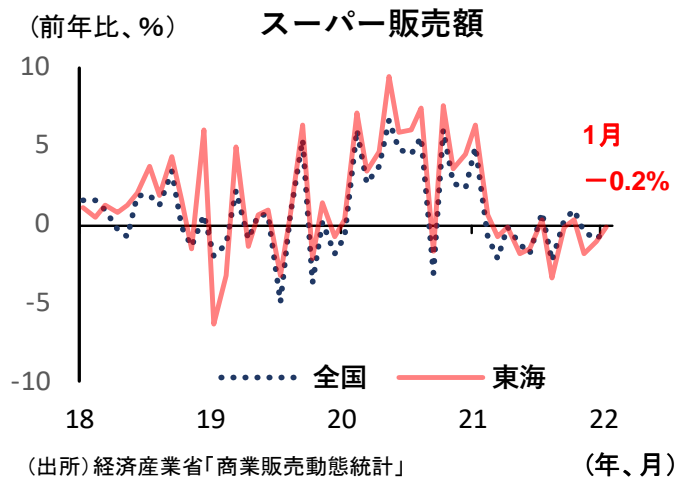
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」



# 個人消費(業態別)

1月の小売販売(東海)は、スーパー、家電販売店、ホームセンターの3業態が前年比で減少した。

2月の百貨店売上(名古屋)は、前年比+4.1%と5か月連続で増加したが、一昨年比では-10.4%と低水準。まん延防止等重点措置の延長による外出抑制などが影響した。



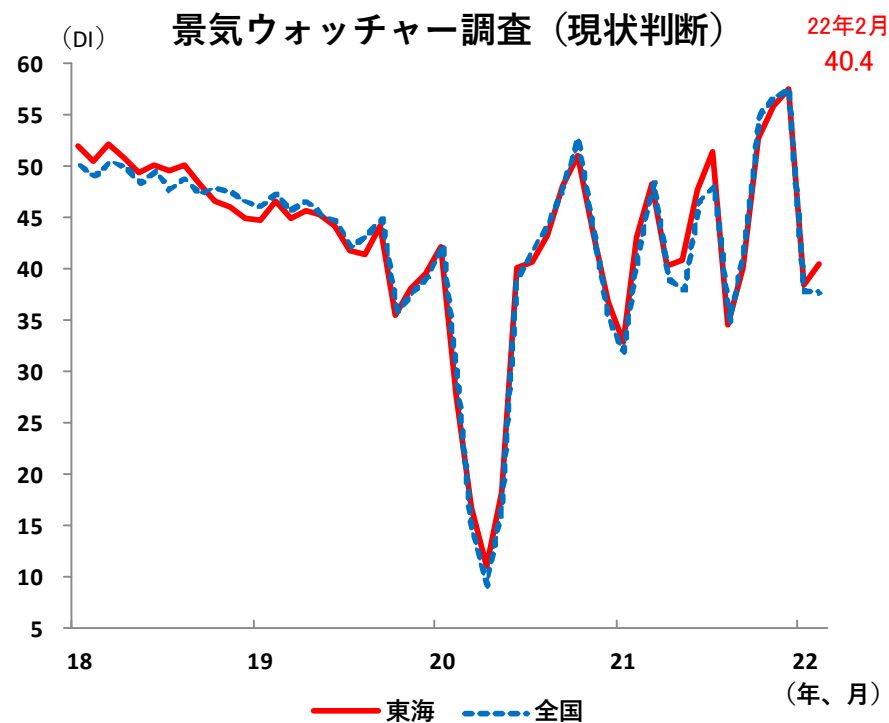
# マインド・景況感

2月の消費者態度指数は35.1と2カ月連続で低下し、弱含んでいる。

2月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、40.4(前月差+2.1%pt)と小幅上昇したが低水準。オミクロン株の感染が拡大し、まん延防止重点措置が延長されたことで、厳しい状態が続いている。



(注)東海の季節調整値はMURC試算  
(出所)内閣府「消費動向調査」

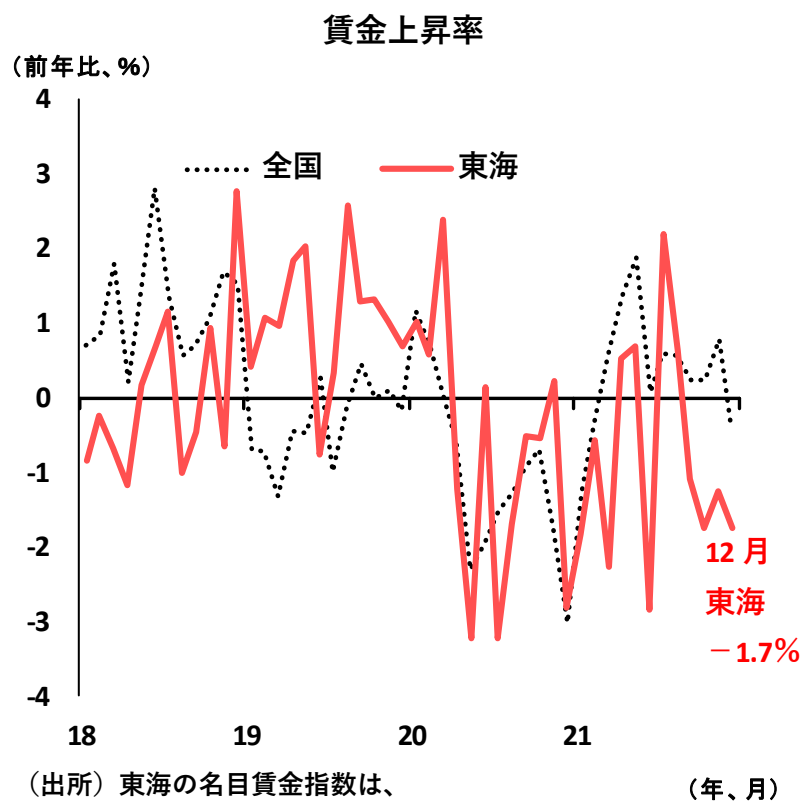


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

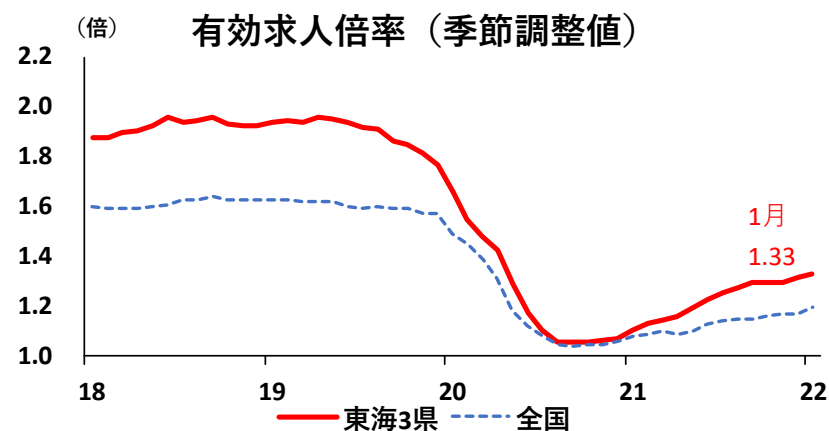
# 賃金・雇用

12月の名目賃金は、前年比-1.7%と4カ月連続で低下した。三重は上昇したが、愛知、岐阜で低下した。1月の求人倍率は1.33と前月から小幅上昇。全国に比べ求職者数増加の度合いが低く、求人倍率は高めで推移している。

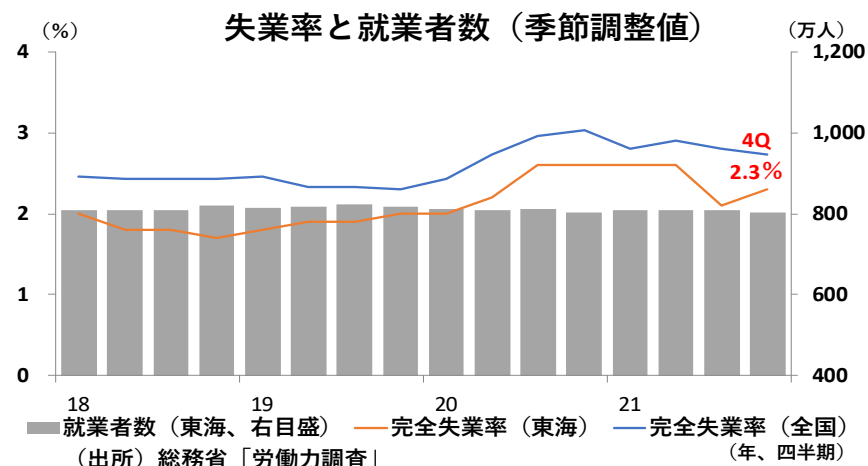
21年10-12月期の失業率は2.3%と上昇。就業者数は減少した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成

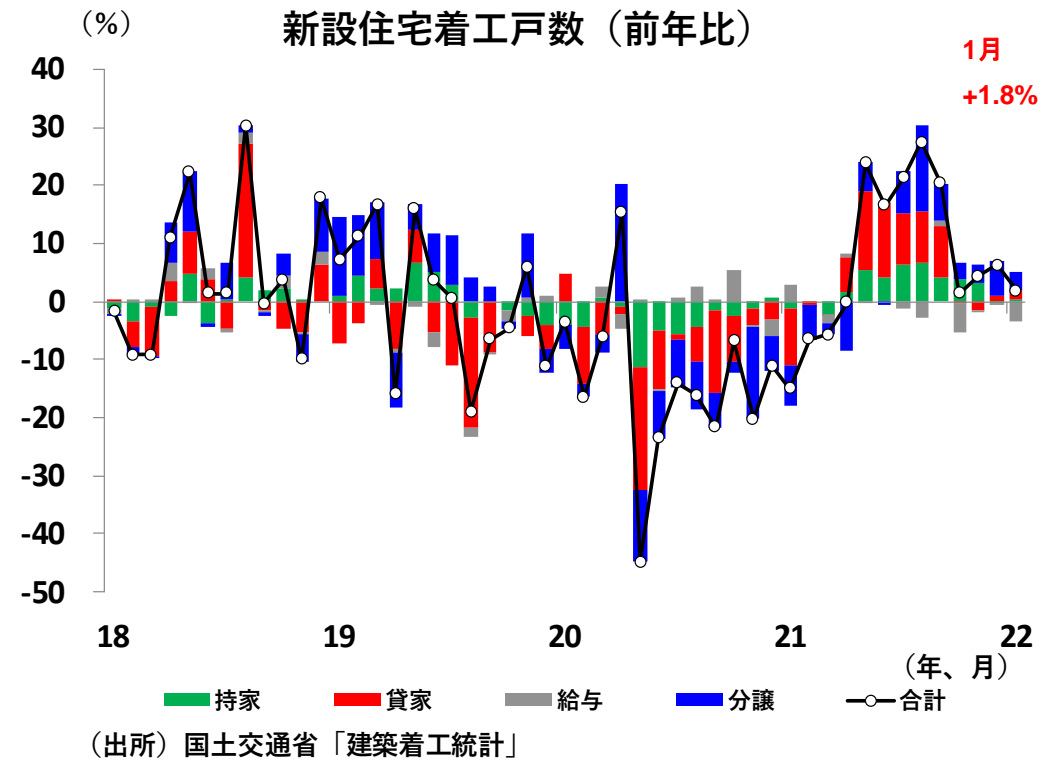
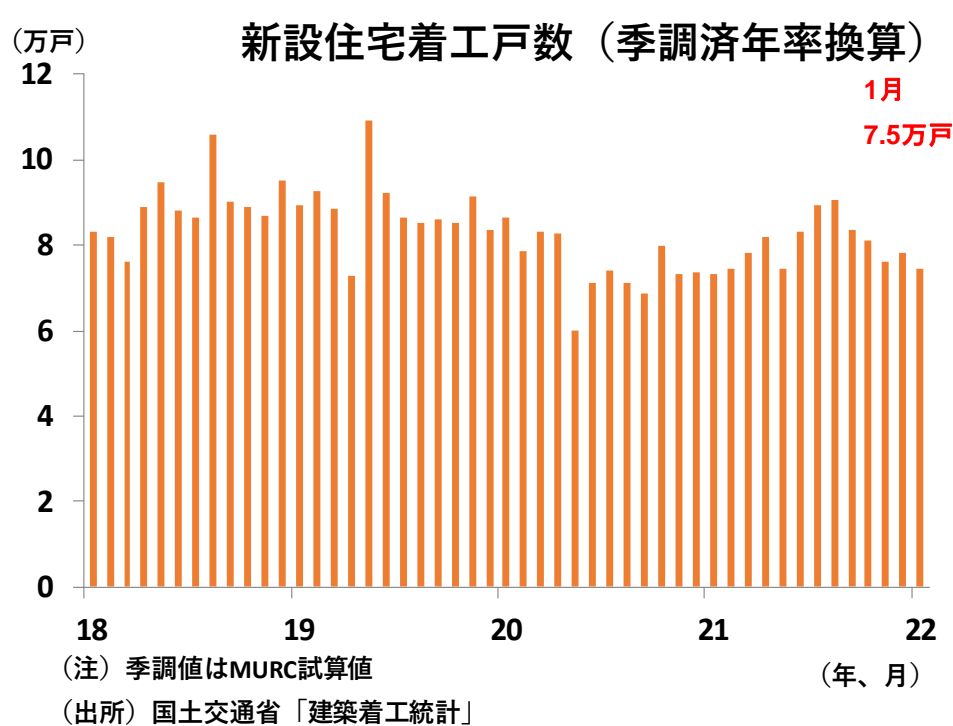


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



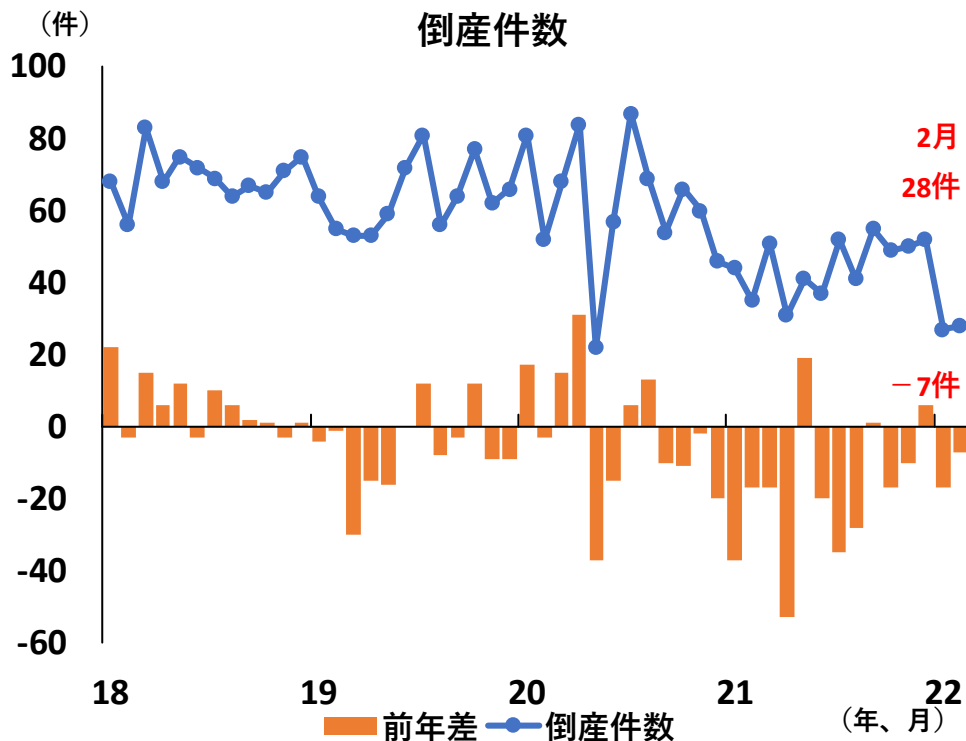
# 住宅投資

1月の住宅着工は季調・年率で7.5万戸と2カ月ぶりに減少、このところ弱含んでいる。前年比では持家、貸家、分譲が増加し全体で前年比+1.8%と9カ月連続で増加したが、増加幅が小幅となっている。



# 倒産

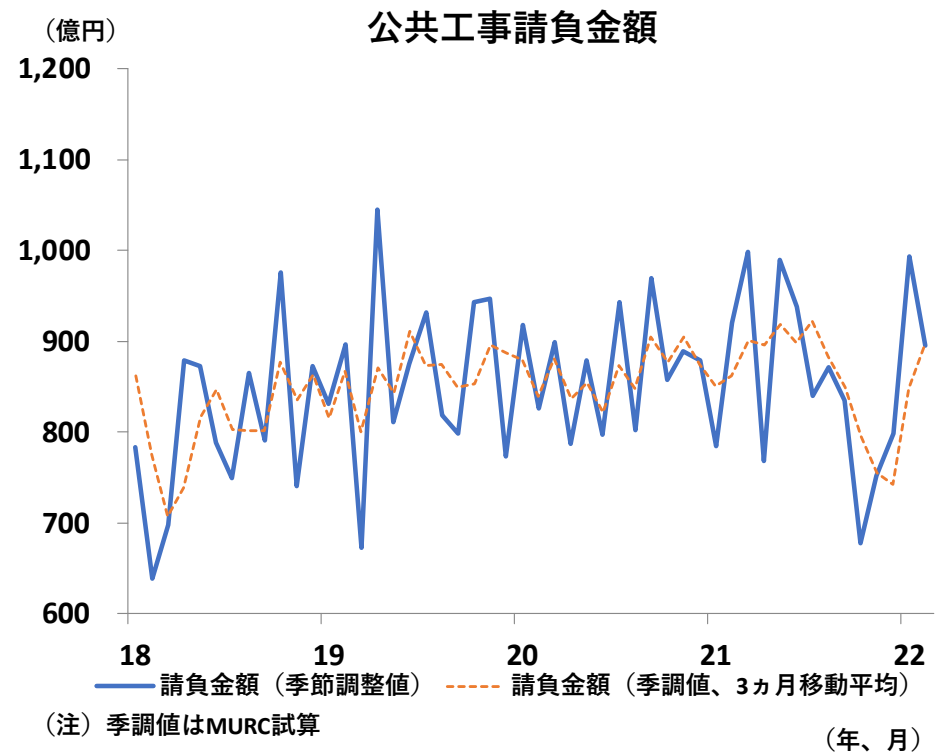
2月の倒産件数は28件と低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

# 公共投資

2月の公共工事請負金額は、岐阜で前年比大幅増となったが、全体としては弱い動きが続いている。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください